

光葉ワーキングクラブメールマガジン



<2021年 8月号>

170号 2021.08.01 配信

コロナ禍で1年延期された東京オリンピック、パラリンピック。開会式前日まで様々な問題を抱えながらの開幕となりました。いろいろな思いがあると思います。とにかく始めたのですから最後には、57年ぶりに日本で開催されてよかったね、大成功だったね、素晴らしかったねと言える日本人でありたいと思います。日本を背負う選手を応援し、日本人を支える医療関係者に感謝しつつ。

■同窓会だより

◆ 光葉同窓会「光葉緑奨学金」授与式

今年度の対象者は19名で、7月9日（金）



13名、16日（金）2名に授与しました。コロナ禍でリモート受講学生4名には郵送しました。

◆ 栃木県支部の石原奈央子氏（1997年日本文化史学科卒）東京オリンピッククレー射撃に出場

片桐支部長はじめ支部同窓生がメッセージカード「祝五輪御出場 祈御健闘」に有志が心を込めて折った千羽鶴を添え、ご実家にお届けした様子が下野新聞に掲載されました。

◆ 7月17日（金）11:00～12:00 同窓会委員会/ 14:00～15:30 光葉ワーキング委員会（Zoom 開催）

Zoomミーティングの最後に会計ファイナンス学科の学生も参加し、ゼミの活動状況について説明がありました。また、光葉ワーキング委員会には安西美津子元同窓会長のサプライズ参加があり、ワーキング委員の活動を応援してくださいました。

◆ 光葉同窓会事務局の夏休み（7月31日～8月15日）

■学園だより

◆ 全国女子大学「11年連続実就職率 No. 1」 2021年卒業生の実就職率 92.9%（大学HPより）

◆ 昭和女子大学が大学通信「改革が高い大学ランキング 2020（女子大学編）」で1位にランクイン

大学通信が全国の進学校 2000校を対象に昨年実施したアンケート調査で、本学は「改革力が高い大学ランキング 2020（女子大学編）」で1位、「入学後、生徒を伸ばしてくれる大学ランキング 2020（女子大学編）」では2位にランクインしました。実就職率やスーパーグローバルキャンパスが評価されました。（大学HPより）

◆ 文学研究科言語教育・コミュニケーション専攻に、2022年度「英語教育専修コース」を開設

中高英語の「専修免許」が1年で取れるコースの詳細は8月中旬以降大学院HPに掲載します。

お問い合わせ先→ genkomi@swu.ac.jp（言語教育・コミュニケーション専攻）

◆ 生活文化研究専攻に、2022年度からアーキビスト養成プログラムを開設予定

アーキビスト養成プログラム開設記念特別講演会開催

講師 国立公文書館 前館長 加藤丈夫氏

日時 2021年9月18日（土）13:00～14:30

場所 昭和女子大学オーロラホール（8号館6階6L01）

*オンラインでも開催します。右のQRコードから登録ください。→



◆ 神奈川県大井町・松田町、千葉県館山市と包括協定締結

昭和女子大学は7月9日に神奈川県大井町、松田町、7月16日に千葉県館山市とそれぞれ「連携協力に関する包括協定」を締結しました。昭和女子大学の研修施設「東明学林」、「望秀海浜学寮」を活用し、各自自治体のまちづくり、教育活動、観光資源の活用と情報発信などに継続的に協力していきます。（大学HPより）

◆ コロナ下での日本語幼稚園オンライン集会 —先生、ママ・パパ、集まりましょう—

日時：2021年8月11日（水）13時10分～16時20分 申込先着順定員500名、無料。

対象：海外で日本語での幼児教育を行う教職員および保護者、関係者

申し込みの詳細については現代教育研究所ホームページ (<http://iome.jp/>) をご覧ください。

■ 広げよう光の葉

原田 知子 さん

1994年 専攻科 食物科学専攻修了

「昭和女子大学社会人経営大学院での学び」

大それたことかもしれない。大学院の受験を決意しつつもはじめのうちは、「本当にやっているのだろうか」「そもそも試験をパスすることができるのだろうか」と後ろ向きで不安な気持ちの方が大きかったように思います。きっかけは、消費生活アドバイザーのメールマガジン。あたらしくマスター消費生活アドバイザーという資格が創設され、指定大学院を修了することで取得が可能という記事を読んだのが始まりでした。最初に決定された指定大学院は3つ（現在は5つ）、その中のひとつが本校の生活機構研究科 福祉社会研究専攻 1年制コース（通称：社会人大学院）の消費者志向経営コースだったのです。

なつかしい母校で再び学びたいという思いが、大学院を目指す理由のひとつに加わりました。そして出願前に行われる個別相談で再会したのが、かつて短期大学部食物科学科に在籍していたときの恩師で、当時は助手をされていた粕谷先生だったのです！運命かもしれない、という思いとともに大学院への憧れがヒートアップしました。

その後の小論文と面接による入試では、幸いにも努力が報われ、実に三十年の時を経てふたたび昭和女子大学の門をくぐることができたのです。

三十年前を思い起せば楽しい思い出ばかりです。日々の授業、実験や実習、仲間とのふれあい東明学林や望秀海浜学寮、ヨーロッパ研修旅行など…。大学院への進学は、旧友と連絡を取り合うきっかけにもなりました。キャンパスや三軒茶屋の街並みを見て、ふとタイムスリップしたような気持ちになることもあります。若い時の体験はやはり格別です。今このコロナ禍で、対面授業や宿泊学習が制限され、学生さん達の体験の機会が減ってしまうのが残念です。ワクチン接種などが進み、一日でも早く従前のような活動ができるようになることを祈っています。

さて、現在通う大学院に話を戻します。授業は、社会人が受講しやすい平日夜間と土曜日を中心に行われます。対面&オンラインを併用したハイフレックス授業、オンデマンド授業により、遠方の方でも受講が可能です。共に学ぶ仲間には、企業の第一線で活躍中の人から、セカンドキャリアを模索中の人まで実に様々で、授業のディスカッションや普段のおしゃべりを通じて新しい発見が目白押しです。正直なところ、フルタイムで働き、3児の母でもある私にとって仕事・家庭・大学院のかけ持ちは並大抵の忙しさではありません。でも場合によっては、修学期間を延長することも可能で、社会人が何かを諦めることなく挑戦することができるように配慮されているのです。

大学院での研究を通じて、私の人生はより充実したものになりました。今は、大学院修了後、いかにこの経験を社会に役立てるかを模索しています。人生100年時代、いくつになってもチャレンジする気持ちを忘れずに、自分自身の人生を楽しみたいものです。

【End】